

井上劍花坊 あらいはな 川柳作家。明治二年六月二日長門國生れ、昭和九年九月十一日没（二七〇—一九三三）。本名幸一、幼名七郎。別號司馬澹正、柳樽寺、柳樽寺和尚、柴野龍泉、秋劍等。明治二十六年新聞『日本』に入社、同紙に川柳欄を設け、二十八年柳誌『川柳』（のち『大正川柳』、『川柳人』と改題）發刊。川柳革新運動史上阪井久良後と雙壁。



月二十日構造社出版（等）。

著書『夏爐冬扇（附録花の下露）』（井上秋劍名、合著・松田眞熊編、明治二十四年六月二十四日俳聲發行所「俳聲叢書」）、『日露戰史名譽列傳』（同、編、明治二十九年十一月十九日山形・駿々堂）、小室屈山著『演說祝弔文』（同「演說良材（奉公美談）」執筆、山田旭南編、增訂四版、明治四十五年一月一日大日本兵書刊行會）、『拙者は大石内藏助ぢや』全二冊（司馬澹正名、大正二年二月二十五日帝國軍人後援會、續編、九月二十一日帝國軍人後援會、敬文堂書店）、『赤練々の大石良雄』（大正二年六月五日帝國軍人後援會、敬文堂書店）、『新川柳劍花坊句集（附文抄）』（吉成劍突坊編、大正六年十月二十一日福島・柳櫻會）、『新川柳句集（白二十二入集）』（編、昭和七年十二月十二日柳樽寺川柳會）、『井上劍花坊句集』（井上信子編、昭和十年八月八日叢文閣）、『のみがけの信濃』（合著・佐々木忠編、昭和十六年二月八日長野・長野放送局）、『井上劍花坊句集』（井上鳳吉編、昭和四十二年十二月十四日市ヶ谷出版社）、『川柳全集・7 井上劍花坊』（山本立道郎編、昭和五十五年一月二十日構造社出版（等）。

文獻『井上劍花坊句碑建設の概況報告』（昭和十年十二月十二日井上

劍花坊句禪律教會(等)。